

ボランティアだより

平成22年6月発行

創刊号

大阪医科大学附属病院
病院ボランティア室

病院長より病院ボランティアさんへ

大阪医科大学附属病院 病院長 木下 光雄



一昨秋に本院に病院ボランティアが誕生しました。近隣の大病院に比べこの制度の発足が遅れたこともあり、ご参加していただいている方が、まだまだ少ないというのが現状です。このため、ボランティアの方には何かとご不便をおかけし心苦しく思っています。しかし、ボランティアの皆さん方はとても明るく、積極的に活動しておられるご様子は、ご来院の患者様やそのご家族に「安心という心の支え」を与えていただいているとの印象を強く受けています。

また、時にボランティアの方からご意見を頂くことがあります。患者様の視点ではなく、また医療者の視点からでもない中立の立場からのご意見はとても新鮮です。「目から鱗」というのがぴったりで、よりよい医療機関を目指して努力している私どもにとっても参考になりありがたいと思っています。

本院のボランティア制度は発足してから日が浅く、まだまだよちよち歩きを始めた幼児に例えることができるかと思いますが、皆さんと共に着実に歩み成長していきたいと思っています。将来的にはボランティアの皆さん方の活動範囲をさらに広げ、本院ならではといったユニークな活動もしていただけるよう、病院としても努力しなければと考えています。ボランティアの皆さんのご健勝を祈念し、今後益々のご活躍を期待しています。

AED 講習会受講

5月10日(月)5時から、学1講堂にて開催された単心肺蘇生法/AED講習会に病院ボランティアさん6名が参加されました。人型を書いた教材の心臓部分を音が出るまでリズム良く押さえるのですが、なかなかしっかりした音が出ず、「心肺蘇生って力が必要なんだ」と知りました。キャリア形成支援センターの皆様やライフサポートクラブの学生さん達にお世話になりました。ありがとうございました。



♡ クローズアップ ♡



病院ボランティア 野村 淳永さん(83歳)

活動時間: 129時間

◆病院ボランティアをはじめのきっかけは?

主治医の循環器内科石原先生に、「テレビも好きではないし、老人会や料理教室も好きじゃない。家にいると気持ちが憂鬱になります。」と訴えたら、大阪医大でボランティアが始まったので行ってみたらどうですかと勧められたからです。

◆大阪医科大学附属病院を選んだ理由は?

H19/7に皮膚癌を患い100日間入院し、車椅子生活になるといわれましたが、今では良く歩けるようになりました。その大手術の恩返しです。

◆ボランティア活動をしてみてどうですか?

ボランティア活動は私の「生きがい」です。患者さんの気持ちになって活動しています。私は患者さんの味方です。

◆最後にひとこと

活動中に患者さんから「いくらもらってるの?」と聞かれます。そんな時、「ボランティアとは無償ですよ!」と説きます。

担当者より: ありがとうございます。いつも元気な野村さんの姿を拝見し、パワーをいただいています。無理せず楽しく長く活動を続けてください。よろしくお願いいたします。

ボランティア活動風景

ペットボトルのエコキャップの整理

皆様が持ってきてくださったエコキャップを洗濯機で洗浄後、乾かし、シールの貼られているものはがします。そこまでの作業をお願いしています。



病院ボランティア募集中!!

♡ 一緒に活動してみませんか? ♡

活動内容: 初診受付の案内、患者さま図書の整理・病棟図書の整理、ペットボトルのエコキャップの整理等
病院ボランティアに興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

TEL: 072-683-1221 (内線 2515) 病院ボランティア室(担当: 小野・船橋)